



豪雪に埋もれた1月でした。山はなおさらのことでしょう。

撮影者は吹雪に佇む2匹のキタキツネを捉えています。2匹が同じ方向を凝視して心配そうにしています。よく似た顔つきから親子か、兄弟でしょうか。

タベ、手袋を買いに行ったキツネの坊やを待っている母さんギツネと姉ちゃんギツネではないでしょうか。

新見南吉の童話『手袋を買いに』を彷彿とさせられます。

「新年を寿ぐ会」からスタートしました

1月5日(木) 理事長の新年の挨拶をもって平成29年のSSNの扉が開きました。

本年も互いに元気で、SSNを楽しんでまいりましょう。

恒例の『クジラ汁』はおいしい香りを立てて来客を待ち受けます。会費ゼロ、持ち込み歓迎方式は恒例で11時には続々と会員が集まってきました。その数100人を超え、サロンは笑顔があふれていました。

いつもの顔、久しぶりの顔、初めての顔・・・。

アツアツの『ホタテご飯』が振舞われ、お酒やワインも十分です。『BGバー』には網タイツの新人パーティーがシェイカーをカッコよく振り回していました。



宴もたけなわの頃、するすると『ひょっとこ踊り』が人々の群れを縫うように舞い踊りました。そして午後1時ころ、賑やかな太鼓や笛の音と共にお待ちかねの『獅子舞』が登場してきました。

この様子はどうぞホームページのビデオニュースをご覧ください。

2月のSSNイベントご案内

- 2月8日(水) ボーリング大会
(ディノス札幌中央4階・会員交流部)
- 2月10日(金)～12日(日) ゆきあかり
in 中島公園 (中島公園・地域活動部)
- 2月24日(金) フォーラム
(サロン・フォーラム部)
- 2月20日(月) から来年度
年会費納入受付開始



「クラブ活動部」に聞きました

クラブ活動部は現在(29年1月)26クラブの代表で構成しています。

SSNの魅力は何といても多種多様なクラブ活動です。一人の会員さんが8つものクラブに所属というアツパレな例もあるように、多くの方は幾つかのクラブをかけもって楽しんでます。クラブの中には会員制ではなく開催の都度参加者募集というシステムをとっているものもありますから、クラブ活動に参加している会員数はのべ1,500人以上にはなるでしょう。当方のデーターでは年間の活動人数は9,900人です。

サロンや星園プラザ内の施設で活動するクラブが多いのですが、パークゴルフ、歩こう会、登山、デジカメなど、屋外での活動を中心に展開しているクラブもあり、そば打ち、麻雀、カラオケなど、別の施設を借りての活動もあります。将棋クラブが解散とのことで残念ですが、かつて存在した「源氏物語を読む会」は全巻読み通したゆえ解散という例もありました。

一方、新年度からは「英会話クラブ」が誕生するとの朗報も。クラブを立ち上げるのはそんなに難しくはないが、設立にあたっての事務書について検討中です。また、クラブから運営委員を選出することについては時間をかけて協議してきましたのでそろそろ、具体案を示すべきかと考えています。(クラブ活動部 部長 井上卓二)

編集後記

ある研究によると、雪道の転倒事故は50歳以上では女性の事故件数が男性を上回るとありました。どうしても女性は骨密度が低くなるため、リスクが高いようです。

路面の状況をよく見極めて急がず、ヨチヨチ、ペンギン歩きで行きましょう。(広報部長 松浦)

